

腔腫瘍性疾患に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター産婦人科では、「当院における腔腫瘍性疾患の後方視的検討」を行うことになりました。

この研究の目的は、比較的まれな疾患である腔癌および腔上皮内腫瘍の患者さんの特徴・治療に対する反応やその後の経過を調査することです。

この研究のため、2001年1月1日より2021年12月31日までに治療した方の診療記録を参照し、年齢、治療内容、病理報告書、細胞診報告書、血液検査所見（腫瘍マーカー値）の調査を行います。対象となるのは腔癌および腔上皮内腫瘍で治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（年齢、病理診断名、細胞診判定結果、血液検査結果など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2022年6月

研究責任者

東京医療センター 産婦人科

山下 博

連絡先 03-3411-0111(代表)